

かつらぎ

2023年
(令和5年)

5月



自分の居場所で
自分らしく生活すること

(かつらぎ町社会福祉協議会 令和5年度 事業計画より)



重点目標② 生活しづらさに寄り添うチームづくり

- すべての住民が自分の居場所で自分らしく生活ができるよう、地域住民や福祉関係者、行政機関などさまざまな分野・主体とのチームをつくることを目指し、切れ目のない権利擁護支援を強化します。
- 安定した生活をおくるため、資金の貸付けだけでなく、生活相談や家計指導など関係機関との連携により、生活支援を強化します。
- 介護サービスを利用される方々の「できる能力」に着目し、その能力の維持・向上に取り組むことで、自立支援・重度化防止に取り組めます。
- 日頃の活動の積み重ねによって、災害時にも機能する「支えあい、助け合うまち」を目指します。



重点目標③ 情報発信と見える化による地域づくり

- 関係部署と情報共有を図り、広報紙だけでなくSNSなどの多様な媒体の活用に取り組みます。
- 地域住民や関係者に、日頃の活動や取り組みを見える化することで、相談をしやすい環境を整えます。このことにより、課題がより深刻になる前にニーズを早期に受け止め、適切な生活支援につながるよう関係者と連携した地域づくりに取り組みます。



Instagram



ホームページ



face book



計画をもっと知りたい方



▷その他

- グループウェアの活用による事務の合理化
- 自然災害・感染症発生時における業務継続計画（BCP）の検証
- 情報発信する職員自身の広報マインド向上研修の実施
- 職員の健康増進に関する取り組みの検討・実施

お問い合わせ

かつらぎ町社会福祉協議会
総務係

☎ 0736-22-4311

かつらぎ町 社会福祉協議会 令和5年度 事業計画

基本方針

誰もが安心して暮らせる地域をともに創る

自分の居場所で自分らしく生活する

“ここが一番！かつらぎ町”と実感できる地域づくりに取り組みます

重点目標① だれもが活躍できる居場所と出番づくり

- 地域に出向いてすでにある支えあい活動を把握し、その活動の意義を共有するとともに、居場所と出番の必要性を地域に発信します。
- 地域で活躍している人との話し合いの場を持ち、地域の特色を生かした人とのつながりや、住民主体の健康づくり・サロン活動などの企画・運営をサポートし、地域に根ざした生活支援、社会参加の促進に努めます。
- 地域活動やボランティア活動に関心を持つ住民の増加を目指すとともに、子どものころから福祉のこころを育むことができるよう、小・中・高等学校・大学と連携し、福祉教育の充実を図ります。
- 認知症の方やその家族の居場所づくり、認知症へのよき理解者を増やすため、講座の開催やつれもてカフェの運営、チームオレンジの立ち上げ準備をすすめます。



赤十字は、 動いてる！

SAVE 365



赤十字は、災害が起きた時に駆けつけるだけではありません。365日、それぞれの部門がそれぞれの場所で動き続けています。

災害に備えた訓練、知識や技術の普及、物資の整備、医療現場や海外での活動など、すべてが人を救うことにつながっています。

どんな状況下でも、人間のいのちと健康、尊厳を守ること。その使命を胸に、赤十字は今日も明日もあさっても、かけがえのない日常を支える活動を続けています。

国内災害救護活動



国際活動



救急法などの普及



ボランティアなどの育成



\\ 「人道」のもと、多くの人を救いたい \\
赤十字活動資金へのご協力をお願いします

募集期間：5月1日～6月30日

会 員 運営に参画する支援者

2,000円以上をご支援いただける個人や法人の方

※定期的に赤十字活動などを掲載した広報紙（日赤和歌山）や日本赤十字社会員誌などが送付されます。

協力会員 会員を除く幅広い支援者

500円以上ご支援いただける個人や団体・法人の方

※自治区や町内会には、協力会員(団体)として、協力をお願いしています。

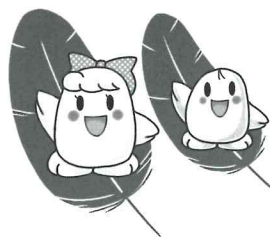
【お問い合わせ】日本赤十字社かつらぎ町分区（町社会福祉協議会内） ☎ 0736-22-4311

お問い合わせ
かつらぎ町共同募金委員会
(町社会福祉協議会内)
☎ 0736-22-4311

「つながりをたやさない社会づくり」あなたは一人じゃない」をテーマに協力をお願いした赤い羽根共同募金は、令和4年10月から令和5年3月までの間、自治区や町内会・学校・法人・関係団体などを通じて多くの方々にご協力をいただきました。

この募金は、令和5年度の孤立や孤独に向き合って取り組む活動に活用されます。

令和4年度 募金総額
2,273,948円
(かつらぎ町)



あなたは一人じゃない！
赤い羽根 共同募金



小学1年生に贈りました

赤い羽根共同募金が活用されています

みんなの愛言葉
イカのおすし

知らない人について **イカ** ない
知らない人の車に **の** らない
あぶ 危ないときは **お** おきな声で助けをよんで
さっさと **す** ぐにげる
ちか 近くのひと **し** らせましょう!!

みんなで助け合って…自分たちで守ろう

社会福祉法人 かつらぎ町社会福祉協議会
●かつらぎ町自治会 ●かつらぎ町交通指導員連絡会 ●かつらぎ町防犯自治会
●かつらぎ町青少年指導員及び少年補導員連絡協議会 ●かつらぎ町青少年育成連絡協議会
●かつらぎ町民生児童委員協議会 ●紀北伊都保護司会かつらぎ分会 ●かつらぎ町更生保護女性会

〈下敷き表面〉

早寝・早起き・朝ごはん 健康な生活を！

早く寝ると早く起きられます。しっかり朝ごはんを食べると学習意欲が高まります。体をいっぱい動かすと夜はぐっすり眠れます。このような規則正しい生活を心がけましょう。

イカのおすしを覚えて 安全な生活を！

町社会福祉協議会は、関係団体の協力のもと、入学祝として“みんなの愛言葉 イカのおすし”の下敷きを小学1年生103名に贈りました。

「イカない・のらない・おお声でよぶ・すぐにげる・しらせる」を親子や地域の方と一緒に覚えて万一来に備えましょう。

早寝 早起き
朝ごはん

なまえ

赤い羽根共同募金の協賛を受けています。

〈下敷き裏面〉

地域で学び支える

認知症サポーター養成講座

日時 5月10日(水)

13時30分～15時

場所 地域福祉センター2階

「認知症」は誰にでも起こりうる脳の病気です。85歳以上になると4人のうち1人に認知症の症状があると言われています。

認知症を本人や家族だけの問題とせず、地域社会全体の問題と考え、皆さんに認知症の方の良き理解者・支援者となつていただくため「認知症サポーター養成講座」を開催しています。

この講座を受けた方が認知症サポーターとなります。認知症サポーターは、何か特別なことをする方ではありません。認知症について正しく理解し、認知症の方やその家族をあたかく見守り、応援する方のことを言います。認知症になつても安心して暮らせるまちづくりのため、ぜひ、受けてみてください。

出張講座も開催！

▽地域や職場での出張講座も実施しています(要相談)

○対象

小学生から高齢者まで、個人・団体でも受けることができます。

○講座時間

60分～90分

※時間については調整可能

○講座内容

- ・認知症とは？
- ・認知症の予防方法について
- ・認知症の方への接し方など

費用はかかりません。テキストなどは用意します。講座を修了された方には認知症サポーターの証として「オレンジリング」を渡します。

お問い合わせ・申し込み
町地域包括支援センター

☎ 0736-22-2322



1号



ま〜るく、つながる人と人

“地域づくり”を応援します!!

いつまでも自分らしく生活するためには、生きがいをもった生活(役割)が大切です。特に、歩いて行ける範囲に“出かける場所”があること。外出して“人と出会うこと”が大切だと言われています。

6月号から、“居場所と出番”をテーマに、かつらぎ町で「輝く人や場所」を発信します。
「ま〜るく、つながる」地域づくりをともに考えます!!

かつらぎ町の「あったらいいな…」を
一緒につくりましょう!
みなさんの地域について教えてください!



私たちは生活支援コーディネーター(通称SC)です。社会福祉協議会に所属しています。

生活支援コーディネーターは、地域にあるさまざまな活動や支え合いを発掘し発信する役割があります。

人と人とのつながりや、地域づくりの応援者として地域へ出向いていきます。

善意のご寄付

(3月1日～3月31日 敬称略)

次の方々から社会福祉協議会へ善意の寄付をいただきました。寄付金は、広く地域福祉活動の推進に役立てさせていただきます。

◆遺志として

清水 政美	亡母	幸子	丁ノ町
辻 吉信	亡祖母	喜美枝	笠田東
栗山 明治	亡父	男也	広口
筒井 英樹	亡父	肇	背ノ山
中谷 雅光	亡母	和代	三谷
森岡 俊行	亡父	通	三谷
金盛 基悦	亡母	名山巧子	東波田
山本 敏美	亡夫	哲司	丁ノ町
吉井 孝至	亡父	英男	妙寺
大下 優子	亡母	堀依久子	大藪
西林 嗣郎	亡母	育子	柏木
楠本 正章	亡母	常子	萩原
岡村 哲明	亡母	知津子	中飯降
亀田 尚広	亡母	佳代子	丁ノ町
平山 忠央	亡母	セツ子	笠田中
廣田 隆	亡父	井田進	笠田東
冷水 治夫	亡母	明子	三谷
岡村 彰文	亡父	佳昭	中飯降
岡 治道	亡母	民子	花園北寺
森本トミ子	亡夫	美次	西波田
宅間 博子	亡夫	伸光	萩原

ありがとうございました

ありがとう

(3月1日～3月31日 敬称略)

★使用済切手・ハガキ収集に協力いただいた方
藤岡 稔忠・中岡 隆子・西林 紀樹・岡村 哲明
ボーイスカウト伊都第3団
(株)作部屋商店・丹生書道教室
介護老人福祉施設やまぼうし
妙寺遍照寺檀家一同・柳瀬建設
日進化学(株)和歌山工場
町子育て支援センター・匿名2件



★ウクライナ人道危機救援金に協力いただいた方
(日本赤十字社かつらぎ町分区受付)
池田 迪哉

社会福祉協議会職員人事異動

()は前職

定年退職 令和5年3月31日付

堀 純子 (花園支所通所介護事業主任)
※再任用職員として引き続き勤務

退職 令和5年3月31日付

西浦 加壽美 (花園支所通所介護事業主査)

異動 令和5年4月1日付

中 宣行 花園支所施設支援係(町派遣)
大嶺 俊一 地域係主査(相談支援係主査)
玉置 敦史 相談支援係主査(総務係主査)
辻内 延匡 総務係主査(地域係副主査)

採用 令和5年4月1日付

正殿 雅也 居宅支援係 ケアマネジャー



こまった時は、気軽に相談しよう!!



もの忘れ相談

5月1日(月)・15日(月)

受付 13時～15時(先着順)
場所 町地域福祉センター2階
問合せ 町地域包括支援センター
☎ 0736-22-2322

年相応のもの忘れ?認知症?迷ったら
ご相談を(当日電話での相談可能)

無料法律相談

5月8日(月)・22日(月)

受付 13時30分～15時30分(先着順)
場所 町地域福祉センター2階
問合せ 町社会福祉協議会
☎ 0736-22-5222

法的なトラブルに弁護士が相談に応じて
います(相談時間は16時まで)

ふくし何でも相談

月～金曜日(祝日除く)

受付 8時30分～17時15分
場所 町地域福祉センター2階
問合せ 町社会福祉協議会
☎ 0736-22-5222

日常生活上の困りごとに幅広く対応
職員が相談に応じています

社会福祉協議会・福祉団体

地域のボランティア活動

1	月	もの忘れ相談 (13:00~15:00)	
2	火	配食サービス (丁ノ町、新田、妙寺、中飯降、短野、高田、笠田西部、笠田中、真和、四郷第一、四郷第二)	手話伊都手のひら (19:30~21:00妙寺公民館)
3	水	憲法記念の日	
4	木	みどりの日	
5	金	こどもの日	
6	土		
7	日		
8	月	無料法律相談 (13:30~15:30)	
9	火	配食サービス (笠田東第一、笠田東第二、佐野、大谷、三谷、東浜田、西浜田、中央部、四邑、志賀、天野、新城) 朗読山びこ(9:00~14:00) つれもてカフェ (13:30~15:00みまもりショップ杏) 布のおもちゃ(13:30~16:00)	ひきこもり青年のための「居場所」 日時 月~金曜日(祝日除く) 13:30~15:30 ※ 8日(月) 11:30 パリスタに挑戦 ※ 9日(火) は小中高生居場所 ※12日(金)・26日(金) は女性居場所 場所 大谷地域交流センター (問) NPO法人よりみち ☎090-7093-9595
10	水	認知症サポーター養成講座(13:30~15:00)	よりみち・ひきこもり相談会 ※要電話予約 (13:30~15:30大谷地域交流センター) よりみち・親の会(19:30~21:00大谷地域交流センター) ブラインドマラソン伴B (20:00~21:00かつらぎ公園堤防)
11	木	つれもてカフェ (13:30~15:00 cafeころーれ)	
12	金	友愛電話 (13:30~15:30)	
13	土		
14	日		
15	月	もの忘れ相談 (13:00~15:00)	
16	火	配食サービス (丁ノ町、新田、妙寺、中飯降、短野、高田、笠田西部、笠田中、真和、四郷第一、四郷第二) 布のおもちゃ(13:30~16:00)	三ツ葉会(13:30~15:00丁ノ町地域交流センター) 手話伊都手のひら (19:30~21:00妙寺公民館)
17	水	つれもてカフェ (13:30~15:00憩カフェ樹楽)	手話サザエさん(19:30~21:00笠田ふるさと交流館) ブラインドマラソン伴B (20:00~21:00かつらぎ公園堤防)
18	木	友愛電話 (13:30~15:30) 認知症家族の会 (13:00~15:00)	はっぴーサークル(13:30~15:30笠田ふるさと交流館)
19	金	手話サークル夢 要約筆記勉強会(9:30~12:00) 手話サークル夢 (13:30~15:00)	
20	土	認知症講演会(13:30~15:30総合文化会館)	
21	日		
22	月	無料法律相談 (13:30~15:30) つれもてカフェ (13:30~15:00エスキース)	
23	火	配食サービス (笠田東第一、笠田東第二、佐野、大谷、三谷、東浜田、西浜田、中央部、四邑、志賀、天野、新城)	
24	水		ブラインドマラソン伴B (20:00~21:00かつらぎ公園堤防)
25	木	点字サークルあすなろ (9:00~12:00) つれもてカフェ (13:30~15:00デイサービス夢心)	
26	金		
27	土		
28	日		
29	月		
30	火		
31	水		

ひきこもり青年のための「居場所」

日時 月~金曜日(祝日除く) 13:30~15:30

※ 8日(月) 11:30 パリスタに挑戦

※ 9日(火) は小中高生居場所

※12日(金)・26日(金) は女性居場所

場所 大谷地域交流センター

(問) NPO法人よりみち ☎090-7093-9595

—認知症について理解する—

- 絵本でやさしく理解できる読み聞かせ “じいちゃん、出発進行!”
- 認知症の専門医である紀北分院の廣西昌也先生にお話をいただきます。

つれもてカフェ

赤ちゃんから高齢者までどなたでも自由に参加することができます。

認知症について気軽に学び、同じ悩みを持つ方とつながり、専門的な相談もできます。(9日・11日・17日・22日・25日)

(問) 地域包括支援センター ☎0736-22-2322



★実施場所の掲載がない所は、
地域福祉センターです。